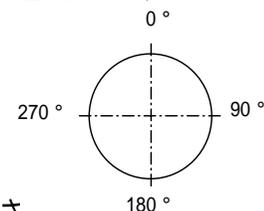


女川原子力発電所2号機 原子炉再循環配管 超音波探傷検査結果 (第6回定期検査において確認されたひびの兆候)

溶接継手番号 1	必要厚さ (mm)	実測厚さ (mm)	指示位置 2	配管外径 (mm)	配管材質	第6回定期検査		
						超音波探傷検査		
						長さ(mm) 3		深さ(mm)
						DAC20% 4	DAC100% 4	
	17.75	26.0	180°付近	416.0	SUS316L	14	10	— 5
	18.52	31.0	30°付近	520.6	SUS316L	10	6	4.5
10						3	6.5	

1: 溶接継手番号 は、6月23日に確認したひびの兆候(6月24日にお知らせ済み)。溶接継手番号 は、今回確認したひびの兆候。

2: 指示位置は、当該配管を上流側から見て、上部側を0°とする。



3: 超音波探傷検査による長さは、DAC20%、DAC100%をそれぞれ超えるひびの兆候の長さ

4: 超音波探傷検査を行う前に、標準試験片に設けた穴から戻った超音波の信号高さを検出し、その高さをDAC100%とし、DAC100%の信号高さを1/5(20%)にしたものをDAC20%とする。

画面上に表示された信号高さが各基準DACを超えたものを指示長さとする。DAC20%はDAC100%よりも低い信号高さまで指示長さとする。

5: 指示の先端部を特定できないため、深さが特定できなかった。

6: DAC100%を超えた指示は、1点のみ(スポット)であり、長さは特定できなかった。